



さわらび

第 92 号

発行元：十和田市立中央病院

発行責任者：事業管理者 松野正紀

十和田市西十二番町14番8号

TEL.0176-23-5869

FAX.0176-21-1234

<http://www.hp-chuou-towada.towada.aomori.jp/02renkei/04sawarabiNews.html>



新年のご挨拶

みなさま、明けましておめでとうございます。

ご家族お揃いで穏やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

今年の初詣では、どのような願い事をされたのでしょうか。私はといいま
すと、今春から当院で研修を始める予定の2人の初期研修医が、どちらも
医師国家試験に落ちないように、お稲荷様に願掛けしました。

昨年11月に2人の名優を失いました。任侠映画からスタートした高倉
健さんとあのトラック野郎の菅原文太さんが相次いでこの世を去りました。
大変惜しまれます。2人にはそれぞれ仕事のプロとしての侵しがたい哲学が
ありました。文太さんには映画「仁義なき戦い」シリーズがありましたが、あれ
は「仁義」は大事だよということを教えている映画でした。

当院も少しずつではありますが、優秀な人材が揃って参りました。しかし、まだまだドクターは足りません。特に優れた医
師を派遣してもらうためには、関連大学の医局行脚は欠かせません。院長と私とで、先方のお仕事の妨げにならない程
度に頻繁にお邪魔しています。考えてみますと、これはお世話になる(なっている)相手に対して、最低限の仁義を切っ
て回っていることになります。そう思って納得しているところです。訪問先の応接室で、丹野院長が腰を落として、「お控え
なすって、手前 三本木の……」と啖呵を切っている姿を思い浮かべるだけでも世の中明るくなります。

みなさまの日頃のご支援に心から感謝申し上げます。

当院は今年もまた更にもっといい病院になることを目指して頑張ります。

どうぞよろしくお願いいたします。



十和田市立中央病院

病院事業管理者 松野 正紀



院内チーム医療のご紹介

感染制御チーム

感染管理認定看護師 藤井 真希

感染制御チームは、院内各部門の職員から構成され、病院内での感染症の発生・拡大を未然に防ぐことを目標に活動を行っています。毎週院内をラウンドし、感染症発生状況を把握、感染対策の実施状況を確認し、感染症の伝播を防ぐために多職種が連携して活動しています。

近年、感染対策でも地域連携が重要なキーワードになっており、院内だけでなく、地域の感染対策の充実も目指して近隣の医療機関と連携した活動も行っています。どうぞよろしくお願ひします。

糖尿病ケアチーム

ハイケアユニット 澤田 和子

糖尿病患者は全国で約 2200 万にのぼるといわれ、増加の一途をたどっています。糖尿病は、患者自身が治療法を十分理解して日々自己管理していくことが大切です。食事療法・運動療法・薬物療法・インスリン自己注射・血糖自己測定・低血糖への対処法・シックデイ時の対応を習得することが必要です。当チームは糖尿病療養指導士が中心となり、患者様の心理や生活環境をふまえたうえで、患者様が正確かつ最新の情報を得て、よりよい生活が送れるようにチーム一丸となって取り組んでいます。

褥瘡対策チーム

皮膚科医師 石橋 昌也

褥瘡対策チームは、褥瘡の早期発見と予防、褥瘡の早期治療を図ることを目的として活動しています。当チームは 2002 年に発足し、メンバーは医師、皮膚・排泄ケア認定看護師、看護師、栄養士、薬剤師、検査技師、理学療法士からなっています。

活動内容は月に 1 回の会議と週に 1 回の回診で、院内の褥瘡患者さんについて予防から治療まで介入しています。また、定期的に勉強会を開催し、院内外の皆さんに褥瘡対策の重要性について学ぶ機会を設けています。今後も専門的な知識と技術を発展させ、活動していきたいと思ひます。

口腔ケア・嚥下リハビリチーム

リハビリテーション科 加藤 樹哉

口腔ケア・嚥下リハビリチームは多職種で構成されており、入院患者様への口腔ケアに関しては歯科衛生士と看護師が、嚥下に関しては言語聴覚士が病棟スタッフにアドバイスをしています。毎月第 3 木曜日にはカンファレンスを開催し、症例報告や口腔嚥下についての勉強会、チーム活動についての意見交換などを行っています。また、上十三歯科医師会の先生方のご協力のもと、毎週金曜日に入院患者様の歯科ラウンドを行っています。

今後は歯科ラウンドにチームメンバーを含めた「チーム回診」ができることを目標にしていますので、よろしくお願ひします。

緩和ケアチーム

緩和ケア認定看護師 太田 緑

緩和ケアチームは、2005 年より活動を開始し、今年 10 周年を迎えます。

当院ではどこにいても基本的な緩和ケアが受けられ、困難なケースではチームの専門スタッフが連携し、多職種で患者、家族のつらさを和らげるように支援を行っています。チームへの年間依頼件数は 200 件以上、緩和ケア認定看護師への相談は年間 3500 件以上、在宅緩和ケアでの看取りも 100 件です。他にも、リンパ浮腫ケアや全入院患者への緩和ケア啓発のためのチラシの配布、がん看護相談外来の開設やアロマを利用した活動等も行っていきます。それでも、「苦痛や不安をどこに相談してよいかわからない」という声が未だ聞かれるため、さらに認知度の向上を目指し、緩和ケアの啓発に力を入れていきたいと思ひます。

医療安全対策チーム

医療安全対策室 鹿内 純子

医療安全対策チームは、室長をはじめ、各部署のリスクマネージャー、リンクナースで構成され、一丸となって患者さんを守る・仲間を守る・自分を守るための医療安全活動を行っています。安全を守るために決められている手順やマニュアルが守られているか、患者さんが安心できる療養環境が提供できているか、職場環境は整っているかなど組織横断的に活動しています。

NST チーム

栄養科 高屋 信也

NST とは、「Nutrition Support Team」の頭文字をとったもので、患者の栄養状態改善を図っていくチームです。多職種で構成されており、患者の病気や普段の活動レベルによってどの程度の栄養が必要か、食事、輸液からどれだけの栄養が補給できているかを評価しています。その結果から、輸液の増減や栄養補助食品の追加を検討し、主治医に提言しています。

来年度からは静脈経腸栄養学会認定の栄養サポートチーム専門療法士取得のための 40 時間の研修も実施します。



新赴任医師紹介

昨年 10 月に新しく赴任された 2 名の医師をご紹介します。



所属：皮膚科 いしばし まさや 石橋 昌也

得意分野：皮膚科一般

資格、専門等：日本皮膚科学会専門医

所属学会：日本皮膚科学会、日本臨床皮膚科医会、
日本臨床皮膚外科学会



所属：外科 きたむら よう 北村 洋

得意分野：消化器外科

資格、専門等：日本外科学会外科専門医

所属学会：日本外科学会、日本内視鏡外科学会、
日本消化器外科学会、日本消化器病学会、
日本腹部救急医学会、日本肝胆膵外科学会
日本臨床外科学会、日本癌治療学会



外来診療担当医表

外来診療担当医表は随時更新しております。下記の URL からのご確認をお願いします。

<http://www.hp-chuou-towada.towada.aomori.jp/03sinryo/03gairaiDoctorList.html>

お知らせ

「ピアノリサイタル」の開催報告



平成 26 年 12 月 11 日（木）、正面玄関エントランスホールにて、「村田恵理ピアノリサイタル」を開催しました。村田さんは現在、ソロ活動を中心に器楽・声楽の伴奏など幅広い演奏活動を行っています。今日はリスト、ショパン、ブラームス、バッハの代表曲を演奏していただき、ピアノのきれいな音色に観客の皆さんも聴き入っていました。

「大忘年会」の開催報告

平成 26 年 12 月 19 日（金）、「サン・ロイヤルとわだ」にて、恒例の「病院大忘年会」を開催しました。最後まで、にぎやかに楽しく交流がはかれ、大変有意義な忘年会となりました。

職員並びに連携先の医療機関の先生方、お忙しい中多数ご参加いただき、ありがとうございました。



今月のアート 「今年もよろしくお祈りします。」

画 畑中 光昭

がん相談員の新メンバーを紹介します。

平成 27 年 1 月からがん相談支援センター（地域医療連携室内）に勤務することになりました、田中見幸です。

その昔、私は福祉を志す者でした。その当時、福祉や医療など異なる職種間の相互理解や連携の難しさが色濃くあり、医療側の立場でも考えられるようになりたくて、医療の分野の道を目指すこととなりました…。現在、自分が相談員として相談対応するにあたり、多職種の皆さんと円滑に連携して相談者を支援していけるよう努めたいと思っています。

また、これまで先輩・同僚の方々から看護について、ユーモアと気配りの中、勉強させていただいた経験を支えにこれから頑張っていきたいと思っております。皆々様、よろしくお祈り致します。

